

本館 企画展

石本 正

ロマネスク

Sho Ishimoto Admiration to Romanesque

への憧れ



島根県 浜田市立

石正美術館

SEKISHO ART MUSEUM



石本正「ボマルツォ」1987(昭和62)年

2015年

3月21日^祝土 - 6月26日^金

【開館時間】午前9時～午後5時 【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

【料金】◎一般600円(団体500円) ◎高校・大学生300円(団体240円)

◎小・中学生200円(団体160円)

※()内は20名以上の団体料金です。 ※「しまね家庭の日」毎月第3日曜日に家族で来館された高校生以下の観覧無料。

【主催】浜田市立石正美術館 / 浜田市 / 浜田市教育委員会 /

公益財団法人浜田市教育文化振興事業団

【後援】公益財団法人中信美術奨励基金



西久松吉雄「森の神の風景」2000(平成12)年

新館 企画展

西久松 吉雄

祈りの地

Yoshio
Nishihisamatsu

古の風景

会期中に展示内容が変わります。

第I期: 3月21日～5月6日

第II期: 5月8日～6月26日

しだれ桜(夜桜)コンサート

3月28日(土) 18時~19時

- 入場無料
- 出演:Duo アフェッティ
(中山ゆき子・杉本さえみほか)

第47回 石本正絵画教室

4月11日(土)・12日(日)

- 特別参加:西久松吉雄
- 内容:裸婦アッサン
- 料金:7,500円
- 定員:30名(定員に達し次第締め切らせていただきます)
- 予約開始日:3月14日(土)午前9時~

特別講演会

- 第1部
「祈りの地・古の風景を語る」
- 第2部
「対談・草木国土悉皆成仏について」

4月11日(土) 10時~12時

- 参加無料
- 講師:西久松吉雄
- ナビゲーター:加藤賢治(成安造形大学社会貢献部門主査 附属近江学研究所研究員)

最前線作家による創作教室
「楽しい風景スケッチ」

6月20日(土)・21日(日)

- 講師:西久松吉雄
- 内容:風景スケッチ
- 料金:4,000円
- 定員:30名(定員に達し次第締め切らせていただきます)
- 予約開始日:5月16日(土)午前9時~

※学芸員によるギャラリートークを随時行っております。
※3月末~4月初旬頃、中庭のしだれ桜開花に合わせて夜間ライトアップを行います。情報はHPやfacebookなどをご覧ください。



石正美術館へのアクセス

- 最寄駅:三保三隅駅から車で5分
- JR山陰本線浜田駅から三保三隅駅まで列車で20分
- 広島駅から浜田駅まで高速バスで2時間
- 浜田自動車道浜田ICから車で30分 ●秋石貝空港から車で40分

HP 石正美術館 検索 浜田市立石正美術館

島根県 浜田市 立

石正美術館

〒699-3225 島根県浜田市三隅町古市場589
TEL(0855)32-4388 FAX(0855)32-4389
http://www.sekisho-art-museum.jp/

特別割引券

一般のみ

ご利用期間:2015年3月21日(土)~6月26日(金)迄
会期中この割引券をご持参の方は、1名様まで
当日料金から100円割引いたします。

石正美術館

本館 企画展

石本正
ロマネスク
への憧れ

Sho Ishimoto Admiration to Romanesque

日本画家・石本正(94歳)は、若い頃から中世ヨーロッパ美術に憧れてきました。中でもロマネスク美術は、作者の名前は忘れられても、作品である建築や絵画・彫刻が時代を超えて感動を与え続けるのがいいと話します。彼は、何百年もの間全く変わらない風景や絵画とそれを守る人々の姿を求め、教え子と共に何度もヨーロッパ各地を訪れました。この旅の中で得た感動はたびたび画家の心の中に甦り、いまでも表現に影響を与えています。

本展では、画家の中世ヨーロッパ文化への憧れから生まれた作品を中心に、ヨーロッパ各地での何十枚にも及ぶ素描の数々も展示致します。

《石本正 略歴》

- 1920年 島根県那賀郡岡見村(現在の三隅町岡見)に生まれる
- 1940年 京都市立絵画専門学校(現・京都市立芸術大学)に入学
- 1947年 復員後第3回日展に「三人の少女」が初入選
- 1950年 第3回創造美術展(後の創画会)に「五条坂」「踊り子」が入選
- 1964年 この年以降しばしばヨーロッパを訪ね、中世ヨーロッパ美術に取材した作品を多く発表する
- 1971年 第3回日本芸術大賞、第21回芸術選奨文部大臣賞を受賞
以後全ての賞を辞退
- 2001年 ふるさとに石正美術館開館
- 現在 創画会会員、京都市立芸術大学名誉教授、京都造形芸術大学教授



「高原」1953(昭和28)年



「無我」1996(平成8)年

新館 企画展

西久松 吉雄
祈りの地
古の風景

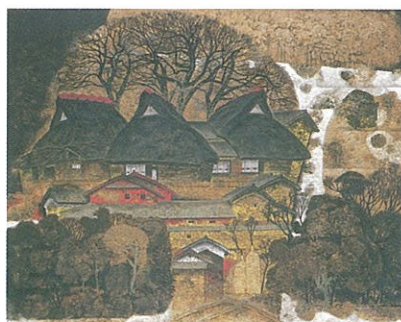
Yoshio Nishihisamatsu

《西久松吉雄 略歴》

- 1952年 京都市に生まれる
- 1975年 石本正主宰の「ヨーロッパ美術の旅」(80日間)に参加
- 1979年 京都市立芸術大学美術専攻科日本画専攻修了
第4回京都日本美術展新人賞受賞 海外派遣
- 1995年 第22回創画展「古墳のある風景」文化庁優秀美術作品賞上
- 2010年 第23回京都市美術文化賞受賞(財団法人中信美術奨励基金)
- 現在 創画会会員、成安造形大学教授

日本の風土をテーマに、深い精神性をたたえる作品の数々を発表し続けている日本画家・西久松吉雄(63歳)。彼は京都市立芸術大学において石本正に学んだ画家の一人で、現在は創画会を中心に日本画壇の第一線で活躍しています。里山の家々や古墳・樹木・岩石など様々なモチーフが独特の構図で表現される西久松作品。それらの原点のひとつとして作家が語るのが、23歳の頃に石本正が主宰する中世ヨーロッパ美術を巡る80日間の旅に参加した思い出です。イギリス・フランス・イタリア各地をバスで移動しながら、今も息づく魅力的な中世美術文化に触れ写生をするという若い頃の刺激的な経験は、自らの生まれ育った日本の風土に改めて目を向けるきっかけとなったといいます。以降、歴史の中で人々が培ってきた土地の記憶を真摯に見つめて制作し続けています。

彼の作品について石本正も高く評価しており、石正美術館でも多くの作品を収蔵しています。本展では、石本の推薦によって昨年新たにコレクションに加わった作品2点を含めた約30点の作品を、2期に分けて展示致します。



「風景」1992(平成4)年



「日本海」1985(昭和60)年